

# 愛媛大学・愛媛県中小企業家同友会景況調査（EDOR）報告

## 第 30 回（2010 年 7-9 月期）

2010 年 11 月 11 日

愛媛大学総合地域政策研究会・愛媛県中小企業家同友会共同実施  
問合先：曾我巨由（愛媛大学総合地域政策研究会）tel.089-927-9238  
池田尚子（愛媛県中小企業家同友会）tel.089-968-8802  
集計：山内彩（愛媛大学法文学部総合政策学科 4 回生）  
文章：岡本隆（愛媛大学法文学部総合政策学科 准教授）

### 景気後退入りの可能性

#### 【調査要領】

- |          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| (1)調査期間  | 2010 年 10 月 14 日～ 10 月 29 日         |
| (2)対象企業  | 愛媛県中小企業家同友会会員企業                     |
| (3)調査方法  | 郵送による自計記入                           |
| (4)回答企業数 | 調査対象企業数 400 社、回答企業 110 社（回答率 25.7%） |

#### 【経済概況】

日本経済は輸出を中心として景気が回復基調にあるが、その状況には変化が見られる。2010 年 9 月の月例経済報告において、政府は基調判断を「景気は、引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられる」としている。しかし同時に、「このところ環境の厳しさは増している。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」とし、先行きについては、景気が自律的な回復へ向かうことが期待されるものの、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などにより、景気が下押しされるリスクが強まっていることと、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念を指摘している。また内閣府が発表した 9 月の景気動向指数（速報値）では「改善している」との基調判断示したものの、足踏みの動きも指摘している。9 月の日銀短観では、製造業、非製造業のすべての規模において前回調査よりも景況感は改善している。特に大企業の製造業は 7 ポイント改善し+8 に、中堅企業の製造業は 10 ポイント改善し+4 となっており、規模の大きな製造業における景況感の改善が伺える。また大企業と中堅企業の小売業では 10 ポイント以上の改善し、プラスに転じている。しかし先行きは、製造業、非製造業ともにすべての規模において足もとよりも悪化するとしており、いずれもマイナスの指数となっている。このように 9 月時点では改善し回復基調を伺わせる景況感も、今後については厳しい見通しを持っており、予断を許さない状況にある。今夏の記録的

な猛暑の影響で飲料やエアコンなどの販売が好調だったこと、たばこの値上げやエコカー補助金終了を前にした駆け込み需要があったことなど、一部に好材料があったものの、逆に今後は消費の先食いの反動が懸念される。さらに輸出主導の景気回復のなか、円高の進行は日本経済の大きな懸念材料となっている。米国をはじめとした国外経済の減速懸念もあり、日銀の為替介入後も円高に歯止めはかかっておらず、輸出企業の業績悪化が心配され、景気の回復基調が打ち消される恐れがある。加えて中国などの新興国の経済成長鈍化の可能性も指摘されており、先行きに関しては厳しい経済環境が予想される。

さて、県内景気に目を向けてみると、日本銀行松山支店の9月の短観によれば、全産業の業況は前回から7ポイント改善のマイナス15となっており、2期連続で回復している。製造業は、電気機械が改善し、前回から7ポイント改善のマイナス8と回復している。非製造業でも、小売、対事業所サービス、建設で改善し、前回から7ポイント改善のマイナス19と回復している。しかし先行きは、全産業で8ポイント悪化の見通しであり、製造業で3ポイント、非製造業で11ポイント悪化の見通しである。このように県内景気も全国同様に、足もとでは回復が伺えるものの、先行きには厳しい見方を持っている。

#### 【EDOR 調査結果概要】

(売上高、採算、採算水準、業況)

今回の調査結果において、売上高、採算(経常利益)、採算水準、業界業況判断において、いずれも前期比、前年同期比とも前回調査よりも悪化した。売上高については前期比で-4.7と10.0ポイントの悪化、前年同期比で-3.7と7.7ポイント悪化した。採算(経常利益)については前期比で-3.8と3.8ポイントの悪化、前年同期比では-11.1と15.1ポイント悪化した。採算水準については25.8から25.7と0.1ポイントとわずかながら悪化した。業界業況判断については-38.1から-39.0と0.9ポイント悪化、前年同期比では-38.8から-42.5と3.7ポイント悪化した。自社業況判断については、前期比で-4.7から-13.1と8.4ポイントの悪化、前年同期比で-3.4から-7.3ポイントと3.9ポイントの悪化となった。このようにすべての指標において景況感の悪化が顕著に見られる結果となった。ただ、次期の見通しについてはいずれの指標においても改善しており、年末に向けての需要増を見込んでいると思われる。

前回の調査結果では、愛媛県内の中小企業の景況感を「実感の伴わない景気回復」としたが、今回の調査結果では、年末を迎える次期については改善の見通しを持っているものの、すべての指標において前回調査から悪化している点から、県内中小企業の景況感は「後退入りの可能性」と判断した。

(経営上の問題点)

経営上の問題点については、前回調査と同様、同業者相互の価格競争の激化、民間需

要の停滞を挙げる企業の割合が高く、次いで従業員の不足、取引先の減少、販売先からの値下げ要請と続いている。これらのことから、同業者相互の価格競争の激化などの問題があり、依然として企業は非常に厳しい経営環境下におかれていることが伺える。

経営上の力点については、新規受注（顧客）の確保と付加価値の増大との回答が同率で最も多かった。次いで、社員教育、人材確保といった項目に経営上の力点を置く企業が多かったが、この2つは前回調査と比べて増加した。今回の調査では、新規受注の確保を挙げる企業が減る一方で、人材確保を経営上の力点に挙げる企業が大幅に増加した。これらのことから、厳しい経営環境のなか、社内の「人材」で悩む中小企業が多いことが伺える。

#### （特別調査）

今回は特別調査として、経営指針書の作成状況と計数管理の有無に関する調査を行った。毎年作成する経営指針書がある企業が28%、毎年更新していないが、以前に作成した経営指針書がある企業が29%であった。経営指針書の作成方法については、経営者のみで作成している企業が58%と多く、全社員を巻き込んで作成している企業は14%であった。また経営において計数管理を行っている企業は全体の60%であった。

売上高、採算、採算水準、自社業況判断について、経営指針書の有無とDIの関係をみると、前年同月比の採算を除くすべてにおいて経営指針書がある（「毎年作成する経営指針書がある」および「毎年更新してはいないが、以前に作成した経営指針書がある」）とする企業の方がDIが高い数値を示している。計数管理についても、売上高と前年同月比の採算を除くすべてにおいて計数管理をしている企業の方がDIが高い値を示している。

## 第30回(2010年7-9月期) EDOR 調査結果

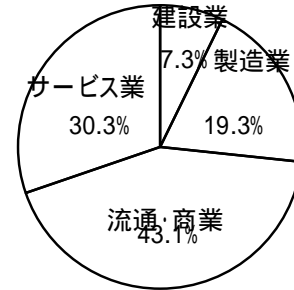
### 回答企業の基本情報

#### 業種(4業種分類)

	社	%
建設業	8	7.3
製造業	21	19.3
流通・商業	47	43.1
サービス業	33	30.3
合計	109	100.0

1社...農業

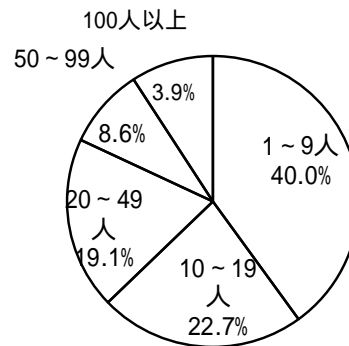
#### 業種



#### 常勤役員を含む正規従業員数

	社	%
1~9人	44	40.0
10~19人	25	22.7
20~49人	21	19.1
50~99人	10	9.1
100人以上	10	9.1
合計	110	100.0

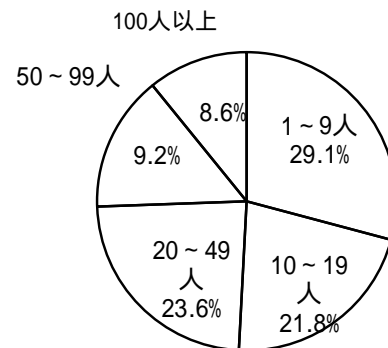
#### 正規従業員数



#### 臨時・パート・アルバイトを含む総従業員数

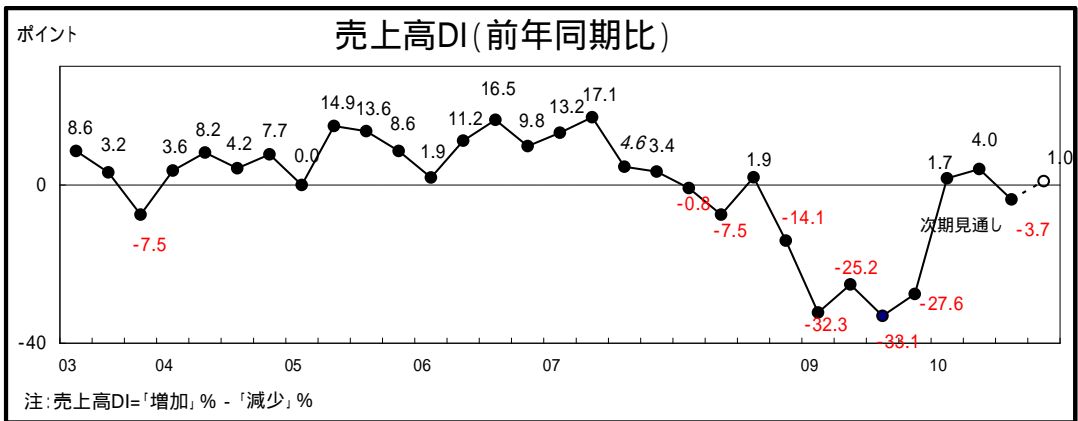
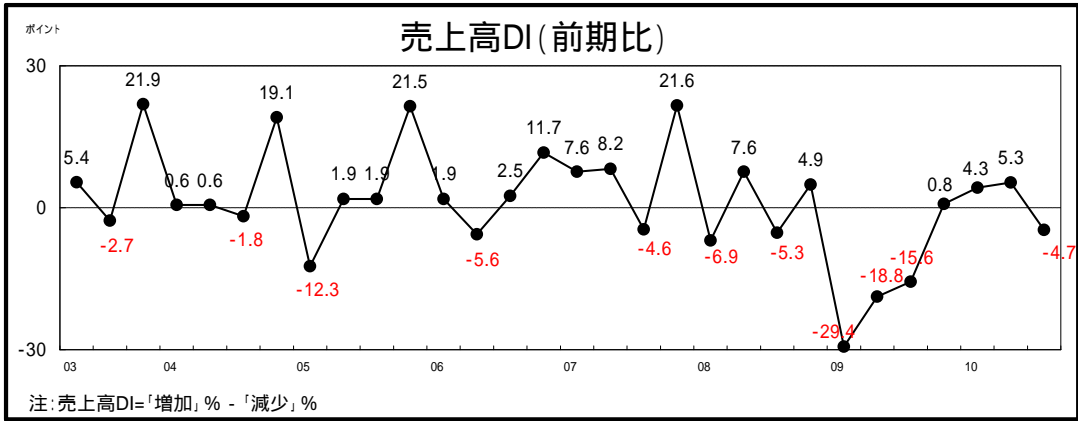
	社	%
1~9人	32	29.1
10~19人	24	21.8
20~49人	26	23.6
50~99人	16	14.5
100人以上	12	10.9
合計	110	100.0

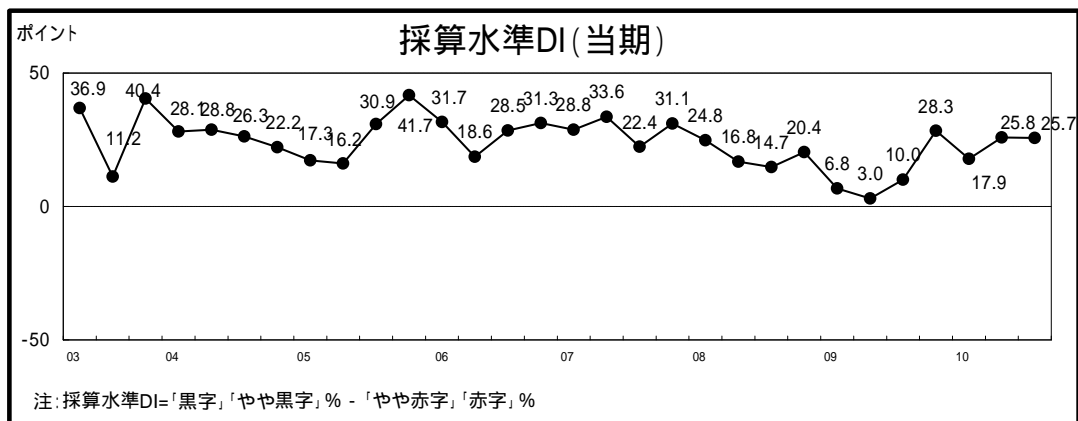
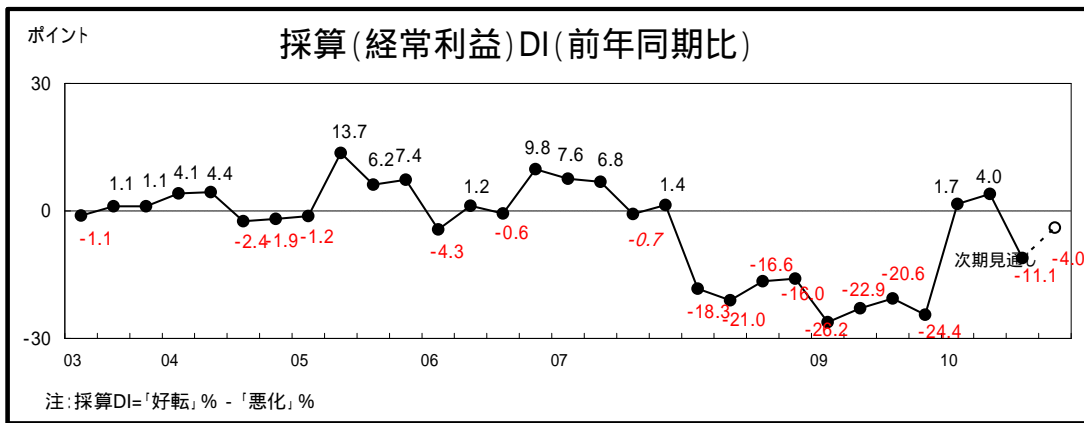
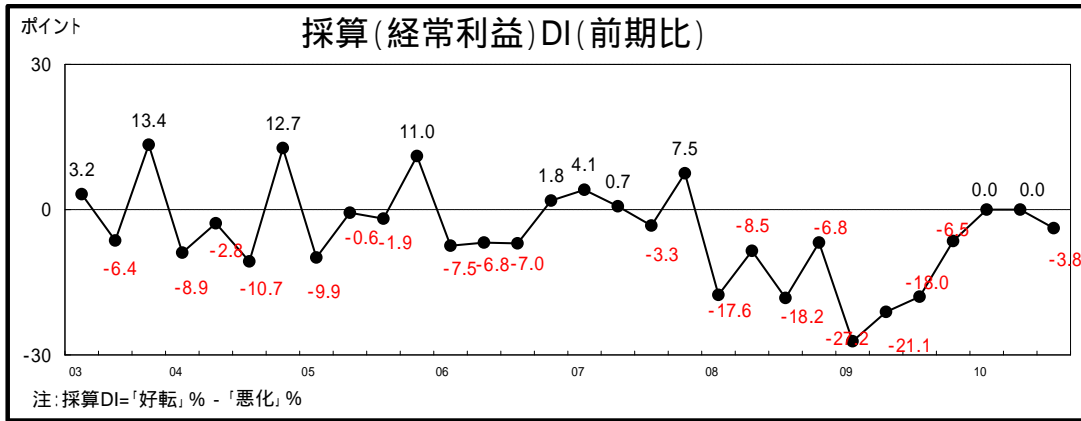
#### 総従業員数

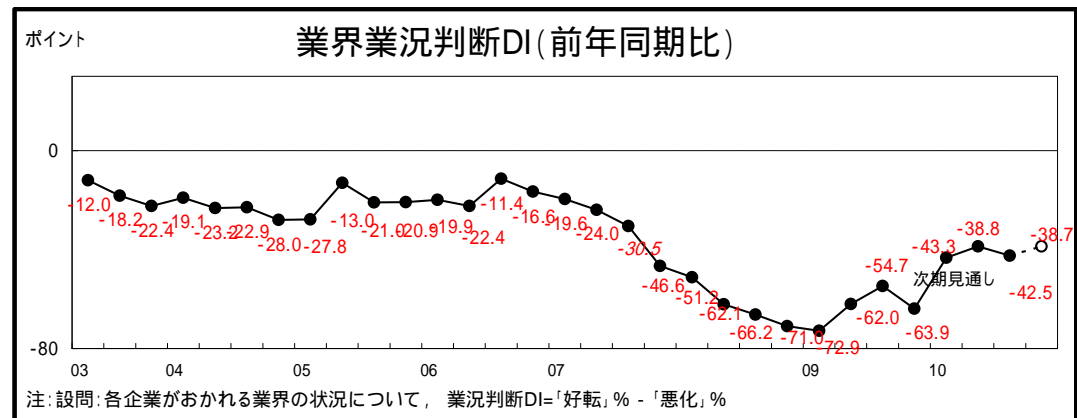
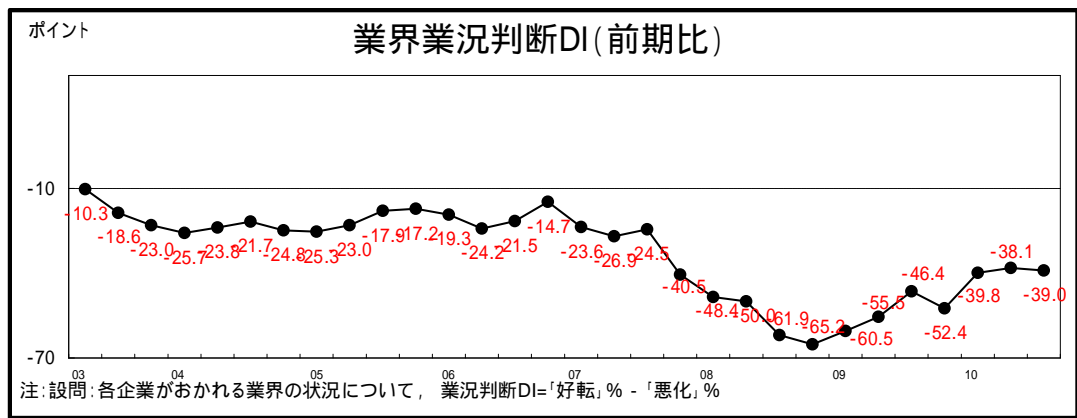
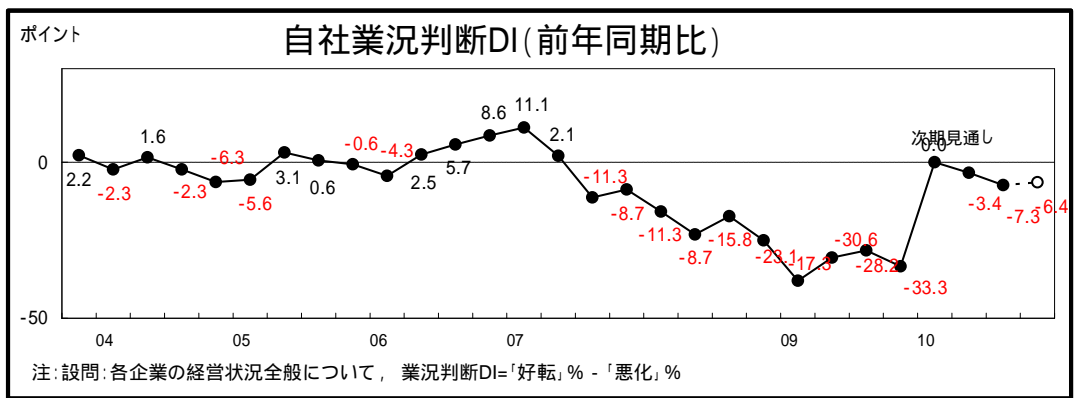
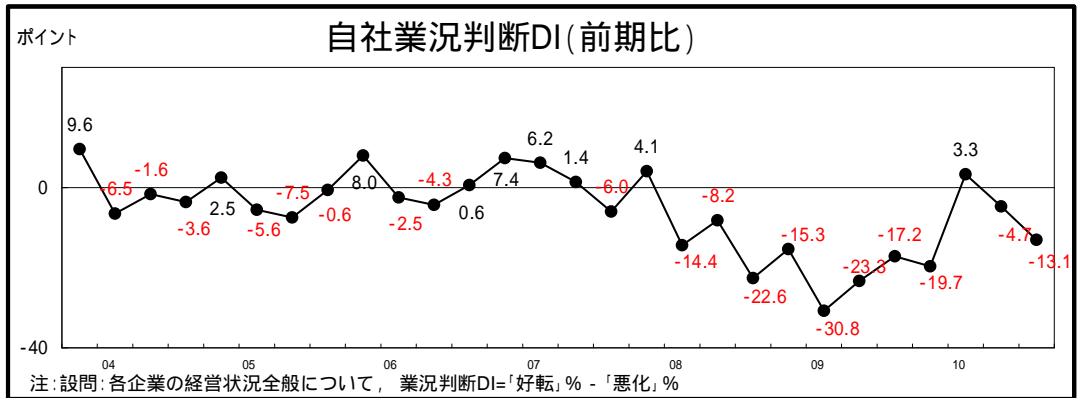


#### 従業員数の平均と中央値

	人
常勤役員を含む正規従業員数	
平均	31.3
中央値	12
臨時・パート・アルバイトを含む総従業員数	
平均	52.5
中央値	17

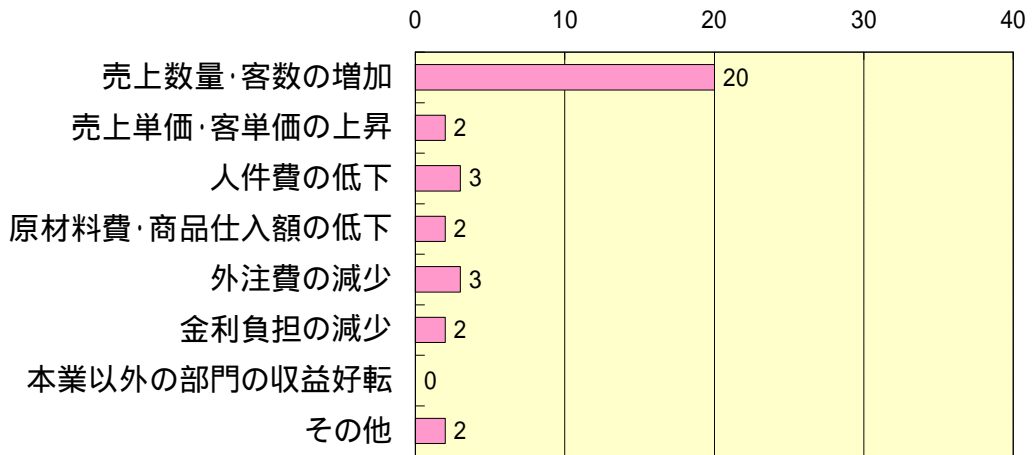






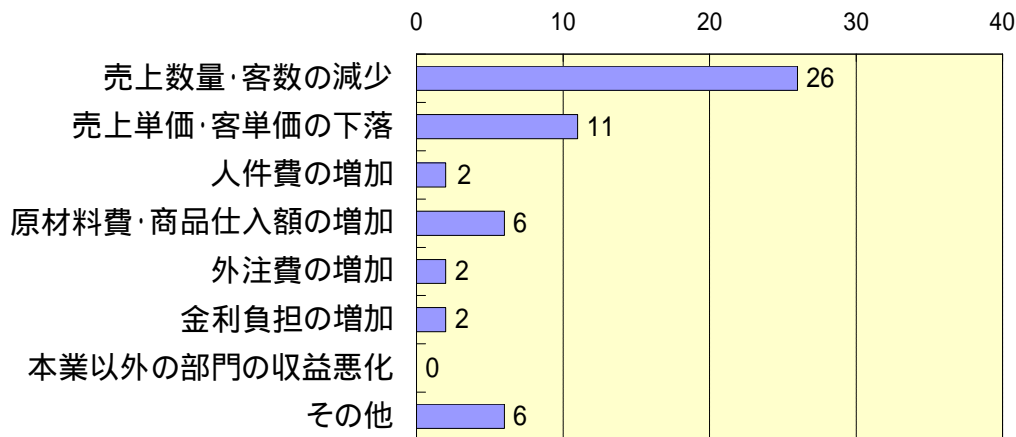
## 採算好転の理由

回答数

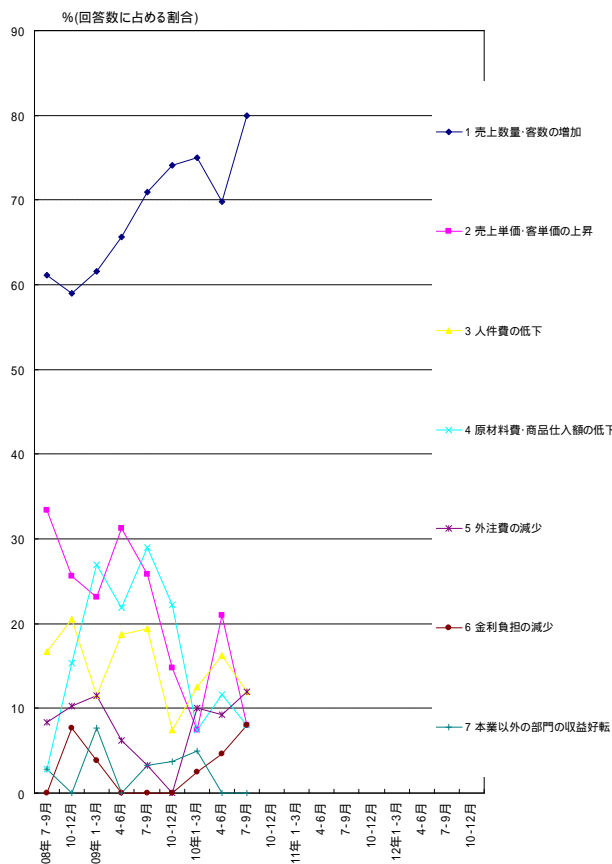


## 採算悪化の理由

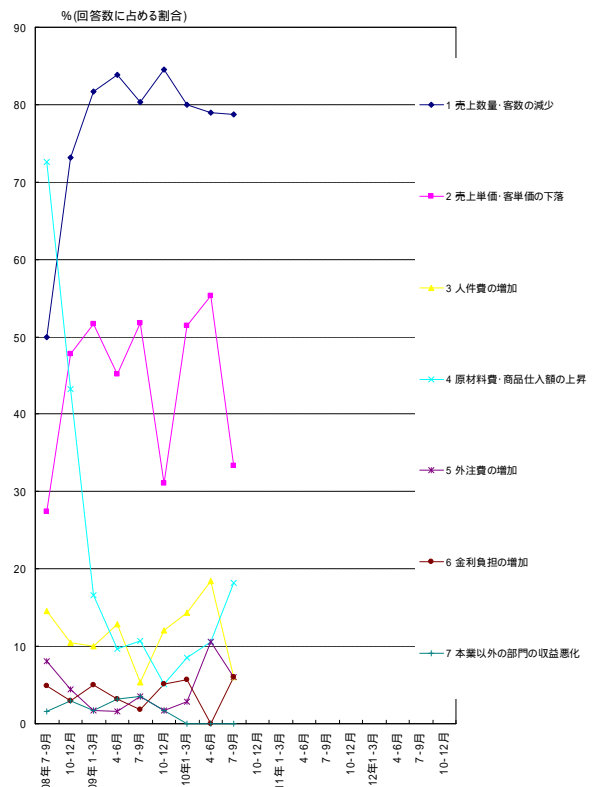
回答数



採算好転の理由の推移 (2008年7-9月～2010年7-9月)



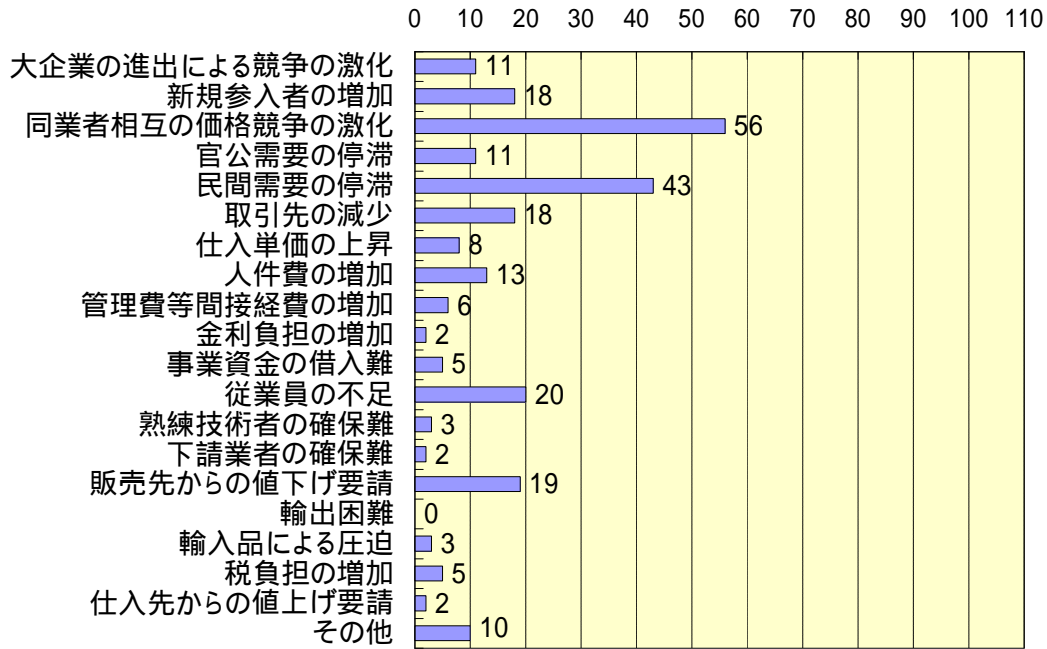
採算悪化の理由の推移 (2008年7-9月～2010年7-9月)





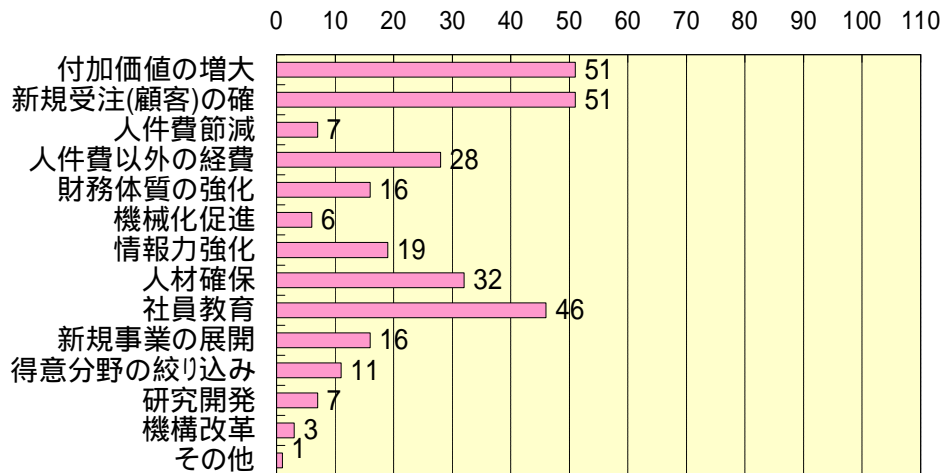
### 経営上の問題点(選択肢から上位3つ選択)

回答数

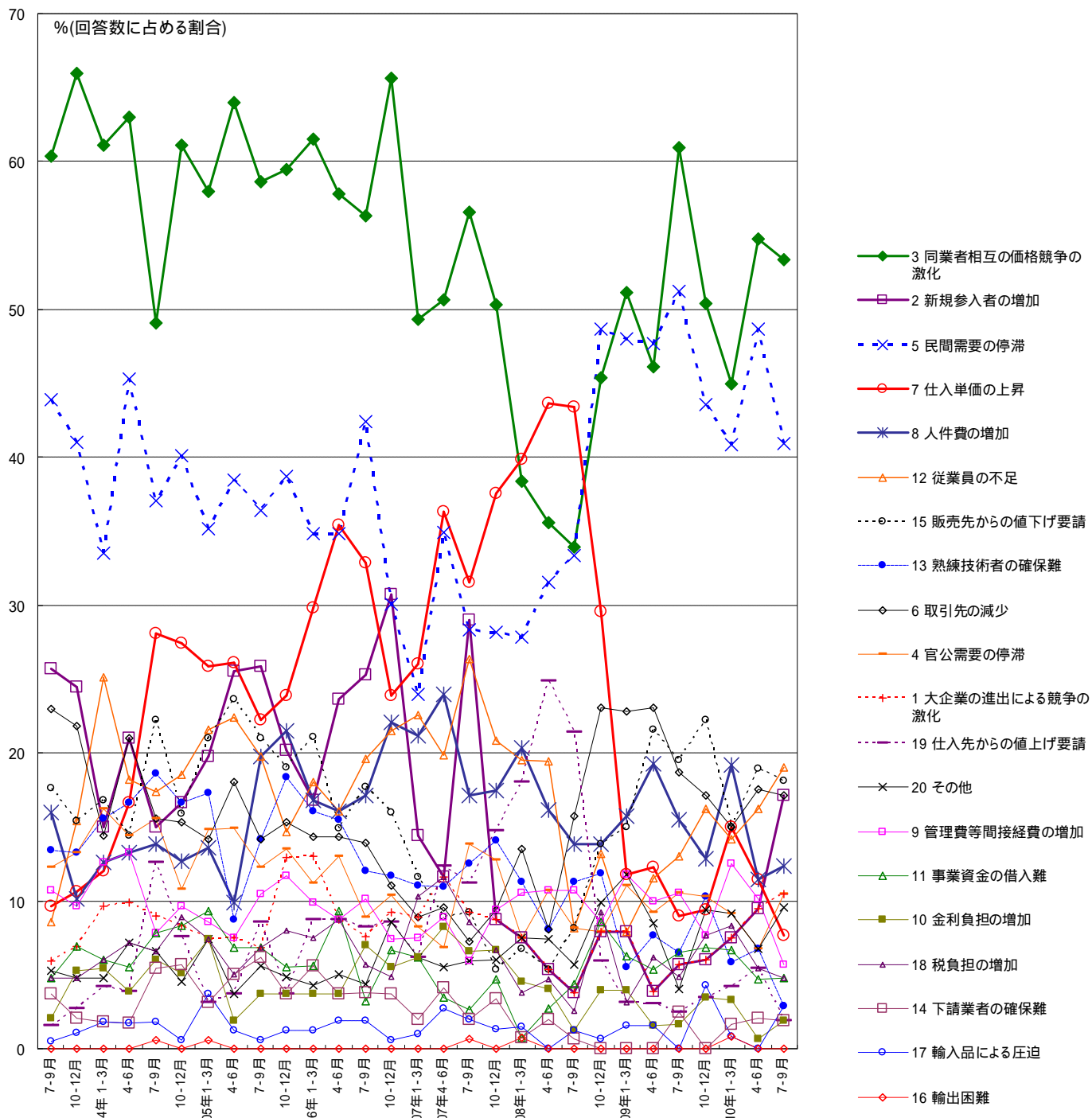


### 経営上の力点(選択肢から上位3つ選択)

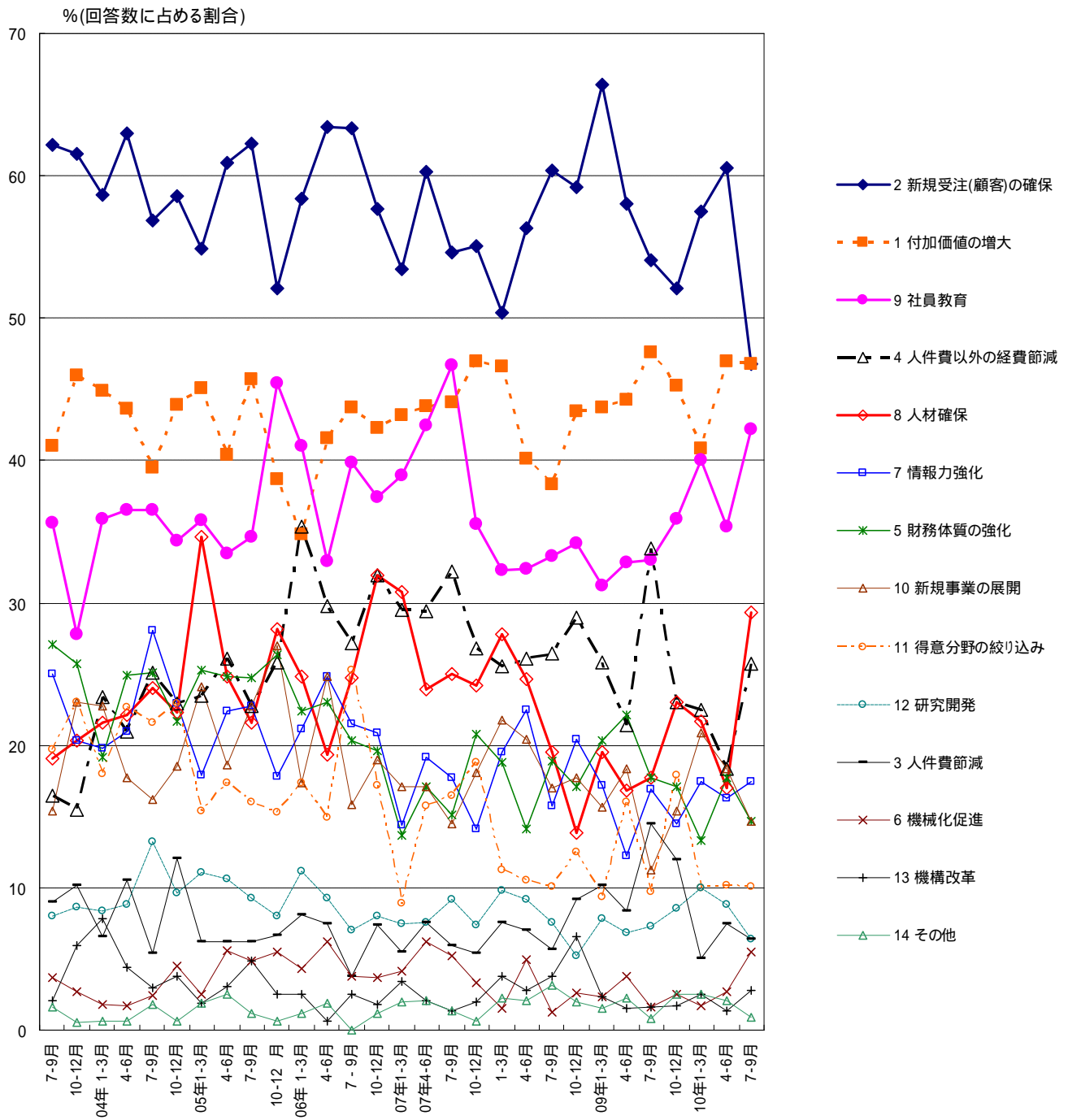
回答数



### 今期における「経営上の問題点」の推移 (2003年4-6月～2010年7-9月)

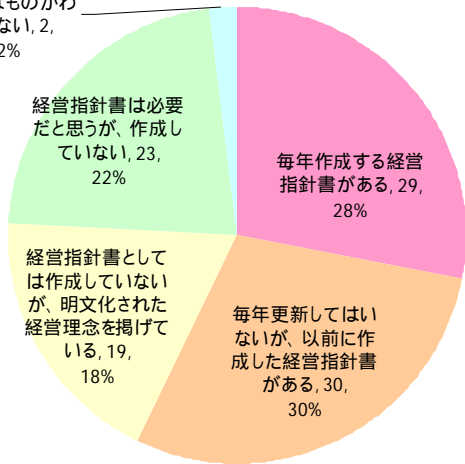


## 次期に考える「経営上の力点」の推移(2003年4-6月～2010年7-9月)

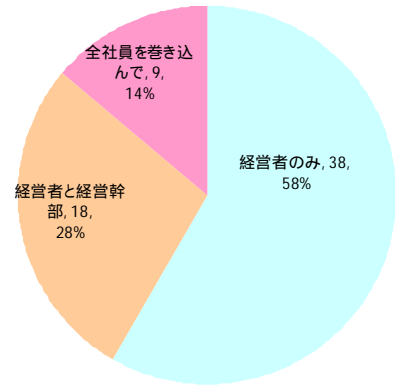


## 経営指針書の作成状況

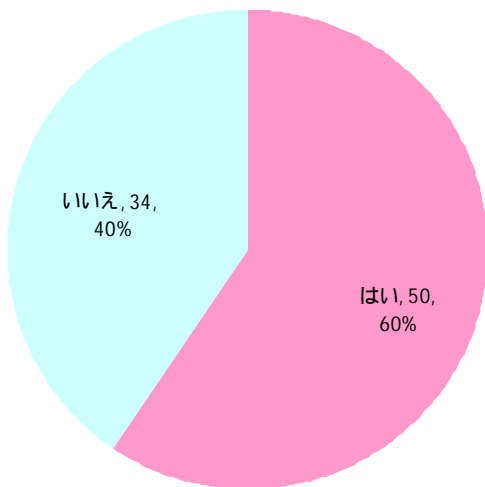
経営指針書とはどのようなものかわからない, 2, 2%



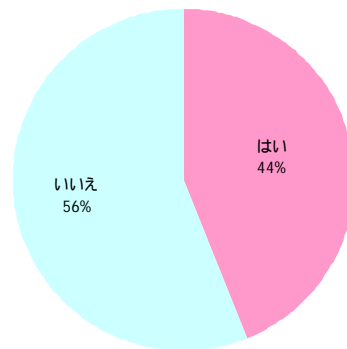
## 経営指針書の作成方法



## 計数管理



## 従業員10人未満の計数管理の有無



## 従業員10人以上の計数管理の有無

